

平成20年度鈴鹿市立千代崎中学校研修計画

研究主題	生徒の学習意欲を高める支援のあり方
教科領域等	全教科・全領域

1. 主題設定の理由

- ・昨年度、研究主題として「生徒の学習意欲を高める支援のあり方」を設定し、授業の工夫・改善、自学の時間に取り組んできた。本年度も継続して、生徒の学習意欲を高める支援のあり方の工夫・改善を進めていきたい。
- ・自学の時間を設定し、生徒自らが学習目標を定め、それに向かって取り組む力を養ってきた。継続してこの取り組みを続けていきたい。
- ・自己評価のやり方に工夫を行い、日常の学習評価を生徒自身に行わせ自己の到達度を認識させる。これによって、次の目標に取り組む気持ちを持たせたい。

2. 子どもにつけたい力

- ・基礎的・基本的な学力
- ・自ら学習目標を定め、それに向かって取り組む力
- ・自分のよい点や可能性、進歩の状況などを自分なりに評価するとともに、仲間のよい点や進歩の状況なども認められる力

3. 本年度の指導の重点

- ・自学の時間を設定し、生徒自らが学習目標を定め、それに向かって取り組み、基礎的・基本的な力を養う。
- ・自己評価を工夫して、日常の学習評価を生徒自身に行わせ自分の到達度を認識させ、次の目標に向かう意欲を引き出す。
- ・授業での板書を工夫し、ノートにまとめる指導を行う。

4. 具体的な方策

- ・学習の目当てや授業の受け方、家庭学習のやり方や評価の方法、学習内容や目標等をシラバスとしてまとめ、生徒に配付する。1年間の予定や到達目標をあらかじめ知らせることによって、学習意欲を高めたい。
- ・自分の理解がどの程度まで進んでいるかを小テストや自己評価を使って、生徒自身に認識させる。
- ・毎週木曜日の5限授業終了後、20分間を自学の時間とし、学年の教師集団が、各教室をまわり質問に答える。自学カードを使って生徒に自己評価させる。
- ・各教科で授業の工夫・改善を行い、生徒の学習支援に取り組む。例えば、授業での板書を工夫し、ノートにまとめる指導を行う。
- ・異なる教科でグループを作り、研究授業を行い、授業改善に役立てる。
- ・保護者や生徒にとって、わかりやすく、活用しやすい評価の情報を提供できたかの検証を行う。